

Ⅲ-4 令和元年度学校関係者評価結果  
様式第3号(第5項関係)

令和元年度

嘉麻市立稲築西小学校

学校評価

報告書

令和2年3月26日

<p><b>【学校教育目標】</b></p> <p>夢の実現に向け、基本を身に付け、 友だちと共に、元気に学ぶ児童の育成</p>
--

<p><b>【本年度の重点目標】</b></p> <p>－ 学校経営 －</p> <p>○課題解決に向けた教職員組織の連携強化 ○教育課程の計画的実施及び学力向上プランの日常化 ○主題研究の研究理論の確立とその理論に基づいた日常実践</p>	<p>－ 教育指導 －</p> <p>○基礎学力の向上・表現力の育成 ○思いやりの心と自尊感情の醸成 ○走力・柔軟性の育成及び望ましい生活習慣の育成</p>
--	--

領域	項目	評価指標	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策
組織運営	学校経営全般	<p>「目指す児童像の具現化に向けて、校務分掌が適切に機能している。」 <b>【結果】</b> 教員A B評価…85% 昨年の数値(94%)より下がった。要因としては、3つの分掌部に若年教師を位置づけたことにより、組織の機能化に不十分であった点にある。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に評価されています。</li> <li>取組を継続してください。</li> </ul>	次年度も実態把握のため、年2回以上の職員、児童・保護者アンケートの実施を継続する。
		<p>「校務分掌組織において、各分掌部会内の係が内部で連携し、協働体制で部会の取組を行っている。」 <b>【結果】</b> 教員A B評価…82% 数値は昨年度と大きな変化はない。少ない時間の中で、全職員が互いに連携し合い、それぞれの分掌部内の係に責任を持って取り組んでいる。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に評価されています。</li> <li>取組を継続してください。</li> </ul>	定期的に会議を設定し計画的な運営ができる環境を維持していくためにも、短期的及び中・長期的なスパンで見通しをもって日程調整を行う。
		<p>「会議等の運営状況は、適切である。」 <b>【結果】</b> 教員A B評価…76% 昨年度の数値(89%)を下回った。見通しをもった会議運営が不十分であった。ただし、同学年会議については、学年主任がレジュメを作成し、効率的に会議を進めることができた。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に評価されています。</li> <li>まずは、計画的な時間確保が大切です。その中で、しっかりと話し合ったり、伝達したりする内容に充実に努めてください。</li> </ul>	毎月1回開く校務分掌部会や各種委員会の情報を、毎週月曜日に開く同学年部会議で確実に伝達できるようにする。
	総合所見	<p>3つの評価指標の教員A B評価が、昨年度と同様、または、下回っている。これは、1週間ごとの短期的な見通し不足や中・長期的なスパンでの学校経営に課題があったと捉えている。次年度は、見通しをもった打合せ、連絡・調整に重点を置く。</p>			
		<p>「一人ひとりが分かる喜びを味わい、楽しい授業づくりを進めている。」 <b>【結果】</b> 児童A B評価…80%、保護者A B評価…87%、教員A B評価…80% 教員は新学習指導要領を踏まえ、授業改善に努めている。そのことを保護者にも一定の理解をしていただいていると捉えている。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習規律がきちんと指導され、児童が落ち着いて学習しています。</li> <li>子どもたちが「分かる。できる。」が味わえる授業になるよう取り組んでください。</li> </ul>	次年度も、「書く活動」を位置づけることによって、教師の説明の時間を削減し、児童の思考する学習活動の確保に努める。

教育課程・学習指導	主体的に学び続ける子	<p>「家庭学習の習慣が身に付くように指導をしている。」  <b>【結果】</b> 児童A B評価…69%、保護者A B評価…68%、教員A B評価…92%          教員は「家庭学習」の習慣化に向けての取組を進めているが、児童と保護者への啓発や家庭での取組の浸透までは至っていない。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と保護者の評価が80%を超えるように、工夫が必要。例えば、PTAと連携するなど。</li> <li>・昨年度も言いましたが、土曜未来塾に行く子どもの数が増えるといいですね。</li> </ul>	家庭学習の指導の徹底が不登校の要因にならないように配慮しつつも、 <u>10分×学年+10分</u> という家庭学習の時間目標及びその内容を確認し、称賛活動を取り入れながら指導を継続していく。
		<p>「言語活動を取り入れながら、思考力・判断力・表現力の育成に努めている。」  <b>【結果】</b> 児童A B評価…78%、保護者A B評価…80%、教員A B評価…83%          昨年度と同等に数値であるが、教員は授業づくりにおいて、思考する手立ての工夫に難しさを感じている。また、児童は、依然として発表に対する抵抗感を感じている。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を表現することは大切な力だと思います。ただし、個々人への配慮をしつつ、ほめながら指導してほしいですね。</li> </ul>	「書く活動」とともに、「思考する」場とその手立てを考えていく必要がある。
		<p>「書く活動を、1単位時間内に位置付けた授業を行っている。」  <b>【結果】</b> 教員A B評価…87%          特に、『一人学び』の段階での「書く活動」が充実してきている。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書くこともとても大切な力だと思います。継続して取り組んでください。</li> </ul>	『一人学び』の段階とともに、『振り返り』の段階においても、「書く活動」は重要になってくる。次年度は、『振り返り』の場を意識して授業づくりに努める。
	総合所見	<p>当然のことながら、教員は、児童に「分かって欲しい」という思いで、学習指導を行っている。しかし、「思考力・判断力・表現力の育成」については、十分な教材研究が必要となってくる。また、家庭学習の習慣化については、これまでの取組を着実に進めていくとともに、固定化している家庭学習の未定着の児童への支援の仕方を考えていく必要がある。</p>			
自分や友だちを大切にする子		<p>「いじめ早期発見アンケートをもとに、いじめのない学級づくりを行っている。」  <b>【結果】</b> 児童A B評価…72%、保護者A B評価…81%、教員A B評価…89%          事実として、いじめの事案やそれにつながる言動はある。しかし、早期発見・早期対応によって、解決に向かっていくことへの一定の評価が得られていると考える。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめは、無い方がいいが、もしも起こってしまったときには、「もう絶対にしない」「もう絶対に起こさせない」と子どもたちが思えるしっかりとした指導をしてほしい。</li> </ul>	年度当初には、教員の意識が高くなれば、いじめの認知は増えてくる。このことを、全職員で共通理解を図る。また、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に全力で取り組むことも共通理解を図る。
		<p>「子どもたちが善悪の判断ができるように指導している。」  <b>【結果】</b> 児童A B評価…90%、保護者A B評価…87%、教員A B評価…92%          個性豊かな児童が多い中、冷静になれば全ての児童が、善悪の判断ができるようになってきたと捉えている。しかし、判断を誤ったり、雰囲気や感情に流されたりするケースは、まだまだ多い。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度と同様に、三者のA B評価がとても高い。とても良いことです。</li> </ul>	間違った判断による言動については、日常の指導・事後の丁寧な指導を心がけて指導する。
		<p>「時と場に応じた正しい言葉づかいができるように指導している。」  <b>【結果】</b> 児童A B評価…75%、保護者A B評価…62%、教員A B評価…65%          昨年度同様、三者ともに評価が低く、生きる力を育む上で、本校の課題の1つである。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと同時に大人も気をつけたいですね。当然先生方にも意識してほしいです。</li> </ul>	継続的に、「学校は、児童が正しい言葉づかいを身につけることができる貴重な学習の場である。」ということを全職員で確認するとともに、定期的に見直す必要がある。
	総合所見	<p>「いじめのない学級づくり」「善悪の判断ができる指導」については、一定の評価が得られているが、「正しい言葉づかい」については、課題が残る。まずは、教員の言語環境を整えることを意識しながら、日々の授業を中心にし、日常の細やかな指導の積み重ねを大切にしていく。</p>			

元気でたくましい子	<p>「子どもたちに基本的な生活習慣を身に付ける指導をしている。」 【結果】児童A B評価…80%、保護者A B評価…77%、教員A B評価…75% 教員、保護者の評価が低く、改善の余地がある。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝のあいさつ運動などで、自分からきちんとあいさつをしたり、話しかけるときちんと返事ができたりする子が増えてきていますよ。</li> <li>「学校は、楽しいですか？」と尋ねると、「はい。楽しいです！」と返してくれると大変うれしいです。</li> </ul>	<p>本校では、生活習慣の1つとして、挨拶を重要視しており、本年度は、小中合同による「あいさつ運動」の取組を増やした。この取組を来年度も継続していく。</p>
	<p>「コーディネーショントレーニングなどを子どもの体力的な課題を克服する動きを取り入れた授業づくりを行っている。」 【結果】教員A B評価…70%、児童A B評価…78%、保護者A B評価…80% 教員にも、児童にもコーディネーショントレーニングは、根付いている。しかし、成果の実感が伴っていない現状にある。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に評価されています。</li> </ul>	<p>コーディネーショントレーニングの成果をどのような形で見取っていくのかを考える必要がある。</p>
	<p>「子どもたちに、自分なりの目標（めあて）をもって、粘り強く取り組む指導をしている。」 【結果】児童A B評価…62%、保護者A B評価…65%、教員A B評価…52% 3者ともに、数値が低い。取り組む内容が明確ではなく、見取りも不十分である。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に評価が低いということは、どこかに課題があるということです。そこを見極めが必要ですね。</li> <li>評価が上がることを期待しています。</li> </ul>	<p>「鍛えよう！ほめよう！プロジェクト」の取組を充実する必要がある。取組を焦点化し共通理解を図りながら進めていく。</p>
	<p>総合視 コーディネーショントレーニングには、慣れてきた。また、授業の中にも取り入れられることも多くなってきている。今後は、授業への取り入れ方に関する研修を行う必要がある。</p>			
生徒指導・保健安全管理	<p>「いじめの問題に対してその実態把握や対応に積極的に取り組んでいる。」 【結果】教員A B評価…92% いじめに関する報告は怠ることなく、取組が進められている。特に、早期対応に努めている。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ早期発見の取組と同様です。</li> </ul>	<p>児童の安心・安全を確保すること、このことが保護者や地域への信頼ともつながること。また、いじめは、どこでも起こりうることの危機感を教員一人一人がしっかりともっておくこと。</p>
	<p>「あいさつに取り組ませたり、学校のきまりを大切にさせていくなど、規範意識の醸成に努めている。」 【結果】教員A B評価…76% きまったことを確実に指導ができていない現状があると捉えている。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>もっと高く評価しても良いのではないのでしょうか。</li> <li>授業参観や運動会、音楽会での姿から子どもたちの成長を感じ取っています。</li> </ul>	<p>教員の意識のずれがないようにするためにも、年度当初、学期末等に確実に確認を行う。また、児童の様子から必要に応じて確認することも必要である。</p>
	<p>「生徒指導に取り組む体制が、整備されている。」 【結果】教員A B評価…92% 報告・連絡・相談体制が整備され、対応も迅速に行うことができている。また、不登校及び不登校兆候児童への働きかけも確実に行われている。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に評価されています。</li> <li>取組を継続してください。</li> </ul>	<p>体制作りは整備されているものの、職員全体の情報共有が不十分であり、その場を確保することで、体制づくりの確立を目指す。</p>
	<p>「保護者や地域社会、関係機関などとの連携協力ができるよう努めている。」 【結果】教員A B評価…97%</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>高評価なので、取組を継続してください。</li> </ul>	<p>引き続き地域との連携によって、子どもたちを温かく見守り、育てる環境を作</p>

		全職員が、保護者、地域ボランティア、関係諸機関との連携を図ることができていると感じている。			り、郷土を愛する心を育んでいきたい。
	総合所見	教員のAB評価が、3つの評価指標の全てで90%を上回り、その成果を実感している。引き続き現在の体制を維持し、保護者や地域社会・関係機関と連携しながら、生徒指導の充実を図る。			
保健・安全管理		「定期的に安全点検を行い、安全管理に努めている。」 【結果】教員AB評価…98% 職員が分担し、毎月の安全点検を行いながら、安全管理の体制ができていると捉えている。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぜひ、取組を継続してください。</li> <li>事故のニュースを時々見ます。ぜひ気を付けてください。</li> </ul>	昨年度より、毎月の安全点検の後に、点検を受けて改善された箇所、今後改修が必要な箇所を一覧表にまとめ確認できるようになった。このシステムを継続する。
		「児童の安全確保や事故の未然防止に積極的に努めている。」 【結果】教員AB評価…92% 日常の連絡・改修が担当を中心に、スピーディーに行われるようになった。また、事前の安全指導や計画的な避難訓練等も充実してきている。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な安全点検と同様です。</li> </ul>	日常の安全点検や報告、改修や未改修等の確認を確実にやっていく。
	総合所見	教員のAB評価が、昨年度同様、2つの評価指標で90%を上回り、その成果を実感している。引き続き現在の体制を維持し、全職員で児童の保健・安全管理の充実を図る。			
研修	主題研修	「主題研修が計画的に進められ、授業改善に努めている。」 【結果】教員AB評価…80% 授業研究（全体・各学年の部研）は、計画的に実施された。しかし、研修の日常化に向けては、課題が残る。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に評価されています。</li> <li>先生方の専門的な部分です。取組を継続してください。</li> </ul>	来年度の研究発表会を見据え、より9ヵ年の児童生徒像の具体化と中学校との連携、さらには、校内での研究の着眼点を明確にする。
	権誦教育	「人権・同和教育が計画的に進められ、日々の児童の教育に活かすことができている。」 【結果】教員AB評価…90% 教員の日常の姿から前向きに取り組んでいることは窺える。しかし、日々の多忙さから、一人一人の児童の実態把握や背景を知ることが不十分であった。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に評価されています。</li> <li>一人一人の子どもたちを大切に、周りの友達を大切にすることをしっかりと指導してください。</li> </ul>	実態に応じた取組を継続、また、新たに構築していく必要がある。特に、一人一人の児童の居場所づくり、児童の思いや願いを受け止めることを基盤にしていく。
	総合所見	研究主任と人権・同和教育担当教員を中心に、取組が進められ、本年度も教員のAB評価が80%を超えることができた。これらの取組を継続し、授業の改善と児童の豊かな心の育成を目指す。			
連携・教育環境		「学年・学級だより等で子どもの様子を知らせ、連携を深めている。」 【結果】保護者AB評価…88%、教員AB評価…97% 昨年度と同様に、高い評価が得られた。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に評価されています。</li> <li>学校だよりが、回覧板で見られなくなるのですが・・・。</li> </ul>	毎週発行する学年・学級だより、毎月発行する学校だより及びホームページの更新を継続する。
	その他	「学習・生活環境の整備に努めている。」 【結果】保護者AB評価…90%、教員AB評価…92% 昨年度と同等の高い評価となり、保護者も職員も、整備されていることを実感している。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に評価されています。</li> <li>取組を継続してください。</li> </ul>	次年度以降も、整理・整頓への価値付けや称賛活動を重質していく。
	総合所見	2つの評価指標に対して、保護者からも高い評価を得ることができた。保護者や地域の皆様とのつながりを大切にするための広報活動と、子どもたちの日々の学習環境と生活環境の整備を、今後も充実させていく。			